

1. 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

今後の日本社会を考える際に、不可避なテーマとして人口減少・少子高齢化がある。2024年1月現在での日本の高齢化率は28%を突破しており（住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査）、超高齢社会の基準が 1 %以上であることを踏まえると、この値は極めて高い。

日本の人口問題を考える際には、先進国が経験してきた「人口転換」とよばれる人口変化のモデルを理解する必要がある。初期段階においては出生率も死亡率も高い、多産多死型とよばれる社会であるが、経済発展に伴う医療・衛生状態の改善により、まず 2 が低下する。この段階では、人口あたりの出生率と死亡率の差が大きくなり、人口が急激に増加する 3 とよばれる社会となる。その後、次第に子を持つ数を各家族が計画的に調整する「家族計画」が普及することで、 4 も低下し、 5 とよばれる社会になる。

従来の理論においては 5 に入った社会ではしばらくすると、人口あたりの出生率と死亡率が均衡し、人口が安定すると考えられていたものの、実際には出生率が想定を下回り、人口が減少に転じる国が現れている。現在の日本はこの状況である。

合計特殊出生率が人口置換水準（先進国の場合には2～2.1の間）を満たすと、親世代の人口が概ね維持できる。しかし日本においては、1970年～1975年頃の 6 の時期に生まれた世代が50代に突入し、今後親となる世代の人口が少ない。そのため、様々な方策により合計特殊出生率が人口置換水準に到達し、親世代の人口を子世代が維持できたとしても、人口全体の維持には程遠い状況である。

国内での人口の分布に目を転じると、東京への一極集中が顕著である。出生率の高かった時代には、出生数の増加に伴う 7 によって、東京をはじめとする大都市への人口流出を補ってきたが、人口が維持されていた地域も、しだいに人口が減少に転じている。

問1 文中の 1 ～ 7 にあてはまる語句を次の語群のなかから選び、記号で答えよ。

【語群】

- | | | | |
|----------|----------|--------------|------------|
| ア. 中産中死型 | イ. 社会増加 | ウ. 高齢化率 | エ. バブル景気 |
| オ. 28 | カ. 死亡率 | キ. 自然増加 | ク. 14 |
| ケ. ひのえとら | コ. 少産多死型 | サ. 35 | シ. 第二次世界大戦 |
| ス. 多産少死型 | セ. 21 | ソ. 第1次ベビーブーム | タ. 少産少死型 |
| チ. 出生率 | ツ. ひのえうま | テ. 多産多死型 | ト. 人口密度 |
| ナ. 中産多死型 | ニ. 団塊 | ヌ. 第2次ベビーブーム | |

問2 日本の人口が最も多かった年が含まれる時期はいつか、次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 1980年～1990年 イ. 2000年～2010年 ウ. 2020年～2025年

2. 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

地球上には、ユーラシア大陸、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、 X 大陸の6つの大陸があるとされる。しかし、このうち、北アメリカ大陸と南アメリカ大陸は、もともと陸続きであり、陸地が狭まっていた 1 海峡に運河を作ったことで、^①太平洋と 2 海が結ばれ、南北アメリカ大陸は陸地が分断された。

こうした経緯から容易に想像できるように、北アメリカ大陸南部と南アメリカ大陸北部は文化的に連続している。そのため、文化的な側面に着目してアメリカ大陸を分類するのであれば、アングロアメリカとラテンアメリカという分類が一般的であった。アングロアメリカとは、アングロサクソン系のアメリカという意味であり、主に 3 から独立した地域からなる。ただし現在では、アングロアメリカとよばれる地域には様々なルーツの住民が住むことを踏まえ、この用語の使用頻度は低下している。

ラテンアメリカは、スペインや 4 といったラテン系の国々がかつて支配したことに由来し、使用言語などに過去に支配を受けた国の影響を根強く残している。ラテンアメリカについて、より詳しく見ていこう。ラテンアメリカは、アンデス地域の 5 文明に代表されるように元々豊かな先住民の文化が発展していたところに、15世紀末以降にヨーロッパ諸国が進出し、その植民地支配を受けることになった歴史を有する。

古代文明に由来する技術が今も生活に溶け込んでいる事例もある。ラテンアメリカの伝統的な食文化における主食はトウモロコシや 6 であるが、このうちトウモロコシ料理において、古代文明以来の石灰によって栄養の吸収効率を高める等の処理が行われる。これは現代でもトルティーヤ等の料理に使われている。

一方で、ヨーロッパ諸国の支配を受けていた時期やその後の時代における移民に由来する文化も多い。リオデジャネイロのパレードで有名な 7 は、キリスト教の謝肉祭を意味するが、キリスト教文化にアフリカ系を中心とする他の文化も混ざり合い現在の形になっている。

令和8年度 入学試験問題（一般選抜） 地理総合、地理探究（その3）

問1 文中の 1 ～ 7 にあてはまる語句を次の語群のなかから選び、記号で答えよ。

【語 群】

ア. アメリカ合衆国	イ. ハバナ	ウ. カスビ	エ. イギリス
オ. ラテン	カ. パナマ	キ. メキシコ	ク. 小麦
ケ. ミロンガ	コ. インダス	サ. ボンゴ	シ. 日本
ス. カナダ	セ. スエズ	ソ. カーニバル	タ. ポルトガル
チ. エーゲ	ツ. ドイツ	テ. ジャガイモ	ト. アラル
ナ. インカ	ニ. ロシア	ヌ. カリブ	ネ. 米
ノ. マラヤ			

問2 文中の X にあてはまる語句を記入せよ。

問3 下線部分①の運河の特徴を正しく記述した文章はどれか、次のなかから1つ選び、番号で答えよ。

1. 途中に水面の高低差がある。
2. 日本へ輸入される原油を載せた船のほとんどが通過する。
3. 海賊の出没に悩まされている。
4. 現在世界で運行されている船の中で最大の物でも通過することができる。

問4 ラテンアメリカの農業の特徴について正しく記述した文章はどれか、次のなかから1つ選び、番号で答えよ。

1. 伝統的な焼畑により、植生が大きく破壊されている。
2. ブラジルでは肥沃なレグール土を利用したコーヒー豆の栽培が行われている。
3. 西インド諸島とよばれていた地域ではサトウダイコンの栽培が盛んだった。
4. アルゼンチンでは大型機械を用いた大豆の栽培が盛んである。

問5 ラテンアメリカに含まれる国を次のなかからすべて選び、記号で答えよ。

ア. アメリカ合衆国 イ. メキシコ ウ. ボリビア エ. ザンビア

令和8年度 入学試験問題（一般選抜） 地理総合、地理探究（その4）

3. 後の問いに答えよ。

問1 鹿児島県の真西にあたる地点が常に満たす特徴として適切なものを次の文章のなかから1つ選び、番号で答えよ。

1. 鹿児島県と緯度が同じである。
2. その地点から鹿児島県を見た場合の方角は真東である。
3. 鹿児島県とその地点の最短ルートは、モルワイデ図法の地図上で直線になる。
4. 鹿児島県とその地点の最短ルートと、鹿児島県を通る経線は、地球儀上で直交する。

問2 2万5000分の1地形図において4平方センチメートルで表現されている土地は5万分の1地形図においては何平方センチメートルで表現されることになるか、数字で答えよ。

問3 次の地図記号の場所で栽培されるものとして最も適切なものを次のなかから1つ選び、記号で答えよ。



ア. 茶 イ. りんご ウ. 水稲 エ. レタス

問4 主題図といえるものを次のなかからすべて選び、記号で答えよ。

ア. ハザードマップ イ. 城下町の観光マップ
ウ. 2万5000分の1地形図 エ. 白地図を気候区分に応じて自分で着色したもの

問5 次の文章のなかで正しいものに○、誤っているものに×をつけよ。

1. 様々な地理空間情報を表示・分析・管理するために使われているシステムをGPSという。
2. インターネット上の地図は不正確であり、最新の正確な地図が欲しい場合には、紙の地図を入手する必要がある。
3. 地理情報システムを用いると複数の地図を重ね合わせた多面的な分析が可能となる。
4. 人工衛星による位置情報の特定には高度な技術が必要であり、アメリカ合衆国が技術を独占している。

4. 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

気候に関する区分としてよく用いられるものとして、ドイツの地理学者ケッペンの区分がある。これは、月別の平均 と降水量に基づいて機械的に区分することができる指標であり、 の違いに着目して開発された。この指標では、熱帯気候をA気候、寒帯気候を 気候として大きく区分し、A～ の各気候をさらに詳しく分類している。また、ケッペンの区分の改良型として、 気候が追加された。

一方で、この指標は万能ではない。具体的な欠点を2つあげる。

第1に、細かい地域における気候の分類には適していないことである。例えば、日本では、^①山形市も鹿児島市も同じCfaという気候に分類されてしまうが、実際には全く異なる気候である。また、機械的に気候区の境が設定されるが、それが実際の気候や の境界とは異なるケースも存在する。

第2に、なぜそのような気候になるのかという気候の成因を区別していない点がある。例えば^②砂漠にはいくつかの成因があるが、その違いを考慮する指標ではない。

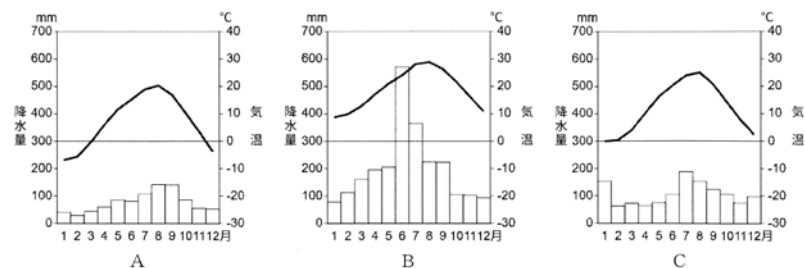
気候を分類する際には、分類する地域の特徴や分類する目的に適した分類手法を採用する必要がある。

問1 文中の ～ にあてはまる語句を次の語群のなかから選び、記号で答えよ。

【語群】

ア. 日照時間 イ. 気温 ウ. 標高 エ. 土壌 オ. 植生 カ. D
キ. E ク. F ケ. G コ. H サ. I

問2 下線部分①について、山形市の雨温図として正しいものを1つ選び、記号で答えよ。



(雨温図作成サイト『<https://ktgis.net/service/uonzu/>』で作成)

問3 下線部分②について、1年を通じてほとんど同じ風向きの地域において、空気中の水分が山脈の風上側で雨となることで、風下側では空気が乾燥し雨がほとんど降らず、砂漠となることがある。このようなメカニズムを主な成因として砂漠となっている地域を次の語群のなかから1つ選び、記号で答えよ

【語群】

ア. 鳥取砂丘 イ. サハラ砂漠 ウ. ゴビ砂漠 エ. パタゴニア オ. カンボセラード

問4 日本の気候においては、季節風の影響が強い。本州で典型的に観測される夏の季節風の風向を八方位で答えよ。

問5 東北地方の太平洋側において、夏に冷害をもたらす風の名前を答えよ。